

A 3D architectural rendering of a cityscape with various building models in white, orange, and purple, set against a light blue sky and water background.

アルインコ株式会社 2027年3月期第1四半期 決算補足説明資料

2026年 7月 17日

証券コード：5933

<https://www.alinco.co.jp/>



2027年3月期第1四半期 連結業績

- ✓コア事業における仮設機材の「販売」と「レンタル」の連携をさらに進め、新型足場「アルバトロス」のユーザーの裾野が拡大したことにより売上高が好調に推移し、前年同期比6.4%増の163億95百万円となった。
- ✓利益面は、売上高が好調に推移したことから、前年同期に比べ大幅な増益となった。
- ✓第2四半期業績予想に対し、順調に進捗している。

	2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期		2027年3月期	
	1Q		1Q		1Q		2Q	
	実績 (売上比)		実績 (売上比)		実績 (売上比)		予想 (売上比)	
売上高	14,529 (100.0%)		15,415 (100.0%)		16,395 (100.0%)		32,700 (100.0%)	
営業利益	550 (3.8%)		643 (4.2%)		782 (4.8%)		1,400 (4.3%)	
経常利益	773 (5.3%)		614 (4.0%)		770 (4.7%)		1,500 (4.6%)	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	670 (4.6%)		399 (2.6%)		469 (2.9%)		960 (2.9%)	

(単位：百万円)

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

2027年3月期第1四半期 セグメント情報

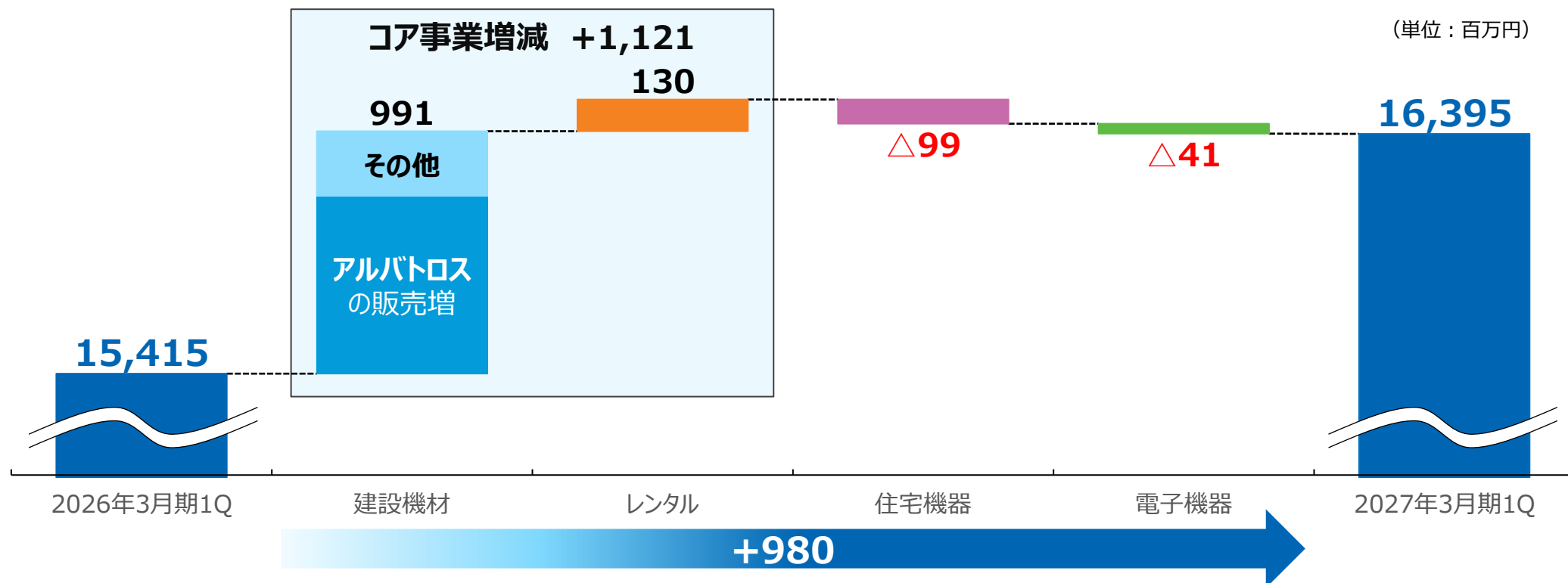
- ✓コア事業における仮設機材の「販売」と「レンタル」の連携をさらに進めてきたことにより、建設機材関連セグメント及びレンタル関連セグメントでは増収増益。
- ✓住宅機器関連セグメント及び電子機器関連セグメントは減収減益となった。

(単位：百万円)

上段：売上高 下段：セグメント利益	2025年3月期 1Q	2026年3月期 1Q	2027年3月期 1Q		2027年3月期 2Q	
	実績	実績	実績	前年同期比 増減率	予想	1Q進捗率
建設機材関連	5,568 594	6,056 479	7,047 841	+16.4% +75.6%	12,900 1,310	54.6% 64.2%
レンタル関連	4,420 364	4,242 247	4,372 268	+3.1% +8.4%	9,300 490	47.0% 54.7%
住宅機器関連	3,365 △118	3,772 12	3,673 △156	△2.6% －	7,710 △190	47.6% －
電子機器関連	1,175 △181	1,344 △102	1,302 △124	△3.1% －	2,790 △210	46.7% －
調整	－ 113	－ △22	－ △57	－ －	－ 100	－ －
全社合計	14,529 773	15,415 614	16,395 770	+6.4% +25.5%	32,700 1,500	50.1% 51.3%

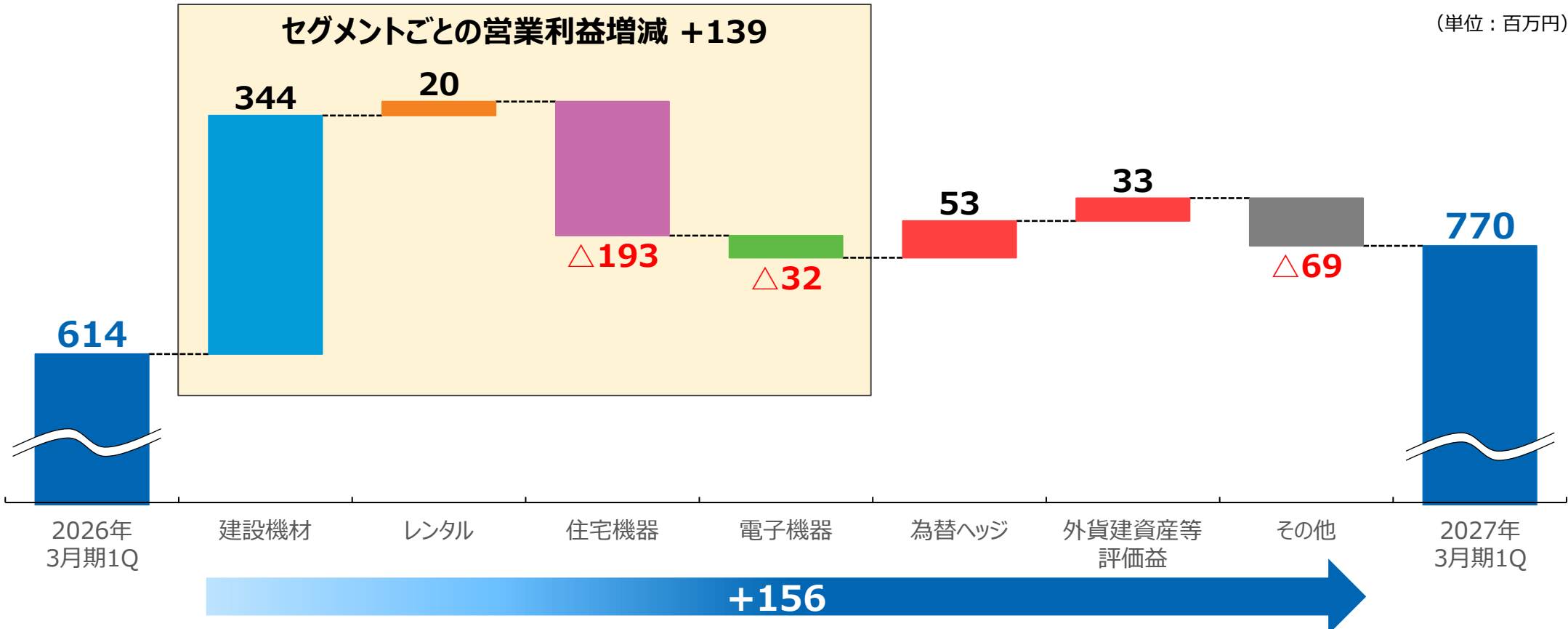
2027年3月期第1四半期 セグメント別売上高増減

- ✓建設機材セグメントでは、新型足場「アルバトロス」のユーザーの裾野が拡大したことによる販売増に牽引され、売上高が増加した。
- ✓レンタルセグメントでは、コンサートなどのイベント開催時期が猛暑を避け前倒しになる傾向から、イベント向けのレンタルが期初から好調に推移し売上高が伸長した。
- ✓住宅機器セグメントでは、前期同様に玄米保冷庫や子会社(株)シップの高所作業台の販売が堅調に推移したものの、アルミ製はしごなどの昇降製品やフィットネス関連製品の販売が中東情勢の混迷による消費マインドの鈍化により減少し、売上高は減少した。
- ✓電子機器セグメントでは、デジタル化された消防無線の更新需要から無線通信機器が堅調に販売を伸ばした一方、子会社におけるプリント配線板事業について、受注価格の改定を進めた影響により、売上高は減少した。



2027年3月期第1四半期 経常利益増減

- ✓ 建設機材セグメントでは、新型足場「アルバトロス」の販売増に牽引された売上高の増加により利益が増加した。
- ✓ レンタルセグメントでは、仮設機材レンタル会社の“購買からレンタルへ”の動向に対応すべく積極的なレンタル資産への投資を継続していることから減価償却費が増加したものの、売上高増加に加えレンタル単価の値上げに取り組んだことが寄与し利益は増加した。
- ✓ 住宅機器セグメントでは、円安の進展による仕入コストの上昇や原材料価格の上昇などにより利益は減少した。
- ✓ 電子機器セグメントでは、子会社におけるプリント配線板事業の売上高減少により、利益は減少した。



(単位：百万円)

	2026年3月期	2027年3月期 1Q	
	実績 (構成比)	実績 (構成比)	前期比 増減額 (増減率)
流動資産	42,966 (58.6%)	44,640 (59.2%)	+1,673 (+3.9%)
固定資産	30,316 (41.4%)	30,720 (40.8%)	+403 (+1.3%)
資産合計	73,282 (100.0%)	75,360 (100.0%)	+2,077 (+2.8%)
流動負債	22,194 (30.3%)	22,444 (29.8%)	+250 (+1.1%)
固定負債	17,530 (23.9%)	19,493 (25.9%)	+1,962 (+11.2%)
負債合計	39,724 (54.2%)	41,937 (55.6%)	+2,213 (+5.6%)
純資産	33,557 (45.8%)	33,422 (44.4%)	△135 (△0.4%)
負債・純資産合計	73,282 (100.0%)	75,360 (100.0%)	+2,077 (+2.8%)
自己資本比率	45.8%	44.4%	△1.4ポイント
D/Eレシオ	0.81倍	0.87倍	－

主な増減要因(百万円)	
流動資産	
受取手形及び売掛金	+1,194
たな卸資産	+304
固定資産	
レンタル資産投入	+566
レンタル資産減価償却費	△282
純資産	
親会社に帰属する四半期純利益	+469
配当金の支払	△439
自己株式の取得	△202

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

当社は、2026年5月1日付取締役会において下記の通り自己株式の取得を決議しました。

- 2026年5月1日付取締役会における自己株式の取得に関する決議内容
 - ・ 取得対象株式の種類 当社普通株式
 - ・ 取得し得る株式の総数 1,100,000株（上限）
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合：5.5%）
 - ・ 株式の取得価額の総額 1,000,000,000円（上限）
 - ・ 取得期間 2026年5月7日から2027年4月27日まで
 - ・ 取得方法 東京証券取引所における市場買付

- 取得した自己株式の累計（2026年6月30日現在）
 - ・ 取得した株式の総数 241,200株
（上限株式数に対する割合：21.9%）
 - ・ 取得価額の総額 247,648,400円
（上限金額に対する割合：24.8%）

【ご参考】ドル円相場の推移

✓当第1四半期におけるドル円相場は、前年同期に比べ円安で推移した。



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競業状況等、多くの不確実な要因による影響を受けます。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。

本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

【お問い合わせ先】

アルインコ株式会社 経理本部 IR室

大阪府中央区高麗橋4-4-9 淀屋橋ダイビル

E-mail : alinco-ir@alinco.co.jp